

仲間集落のまちづくりの実践を通して 琉球大学生が学ぶ



平成 22 年 11 月 17 日(水)浦添市仲間において、(仮)浦添コミュニティ・ランドスケープ研究会主催で琉球大学の学生さんと視察が行われました。

視察の目的・趣旨

- ◆地域の伝統や生活環境、資源を守り育てる人の取り組みを訪ねる
- ◆どのような履歴を歩んできた土地なのか、人の関わり方を学ぶ
- ◆場所の持つ意味、心和む風景（地域らしさ）を発見



仲間公民館で集合



仲間ンティラ ムラの神が鎮座



根殿地 仲間村の草分けの家がある



仲間ノロ殿内 琉球王府より任命された神女



仲間火ヌ神 ムラの火の神を拝む



クバサーヌ御嶽 ムラの発祥の地



浦添間切番所跡 琉球王国の役所



仲間樋川 日常の生活用水として利用。産水、正月の若水を汲む。



北経塚地区の視察



平成 22 年 12 月 1 日（水）浦添市経塚において、（仮）浦添コミュニティランドスケープ研究会主催で、琉球大学の学生さんと視察が行われました。

視察の目的

北経塚地区計画地区の通りで行われている、クリスマス・イルミネーションイベントはデートスポットになるほどの人気があります。こういった風物詩的な風景としての地区の取り組みは、新たなまちづくりと景観を学ぶ絶好の機会となります。若者の視点で、視察調査をし、若者が語る北経塚地区の魅力ガイドの作成や、若者ファンづくりに役立てる事を目的にしています。

視察の流れ

① 北経塚地区計画地区を歩いて見つけ、理解する

■経塚地区の概略

経塚は、王府時代、首里から浦添へ通じる浦添街道（中頭方西海道）にあり、松並木が茂る田園風景でした。もとは、安波茶、前田、沢岬の一部で、首里から移住してきた士族が構えた屋取集落であるといわれています。平成 2 年北経塚土地区画整理事業が始まり、平成 8 年に事業が竣工し、あらたに良好な住宅地（地区計画地区）が形成されました。

② 上原自治会長からのイルミネーションの取り組みのお話

■取り組みのきっかけと目的

- ・アイディアはお酒を飲みながら雑談から始まった
- ・子供達に向けたふるさとづくり
- ・元気な地域を目指している

■イベントの取組、その他活動について

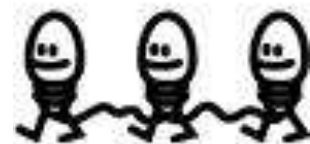
今年 6 度目の取り組みになる。

10 月上旬・・・実行委員会を立ち上げる

10 月～11 月・・・準備

12 月上旬・・・通りに電飾のコード設備を仕掛ける

イベント前・・・通りの美化活動



■活動の中心となっている組織と連携について

組織・・・実行委員会、OB 会、老青会

連携・・・準備から片付けまで、のべ 300 人がこのイルミネーションの地域づくりに関わっている。

■活動運営について

毎年 30 万円の経費がかかっている。

チャリティゴルフ・自治会 OB・地元有識者・事業者・プラン賞・電力



資金造成・寄付金・助成

■これまでの成果、波及効果について

- ・遠くは名護や具志川からの視察がある
- ・デートスポットになっている
- ・QAB のニュース画面の背景に使われる
- ・2007 年度 電力のイルミネーション大賞を受賞



首里城からの中頭方西海道跡



中頭方西海道の説明板



地区計画により塀が低い住宅



地区計画により緑化された住宅



駐車場に緑化ブロック



地区計画によりセットバックされた住宅



道路中央に緑化 イルミネーションのアーチ



ゆいまーるセンター内の広場



広場でイルミネーションの説明を聞く



イルミネーション電源を住宅の分電盤から引く